

# 平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査等事業) 山陽小野田市地域公共交通会議



## 山陽小野田市の概要

- 平成17年3月に1市1町が合併
- 人口 62,706人(平成27年 国勢調査結果速報値)
- 面積 132.99平方キロメートル

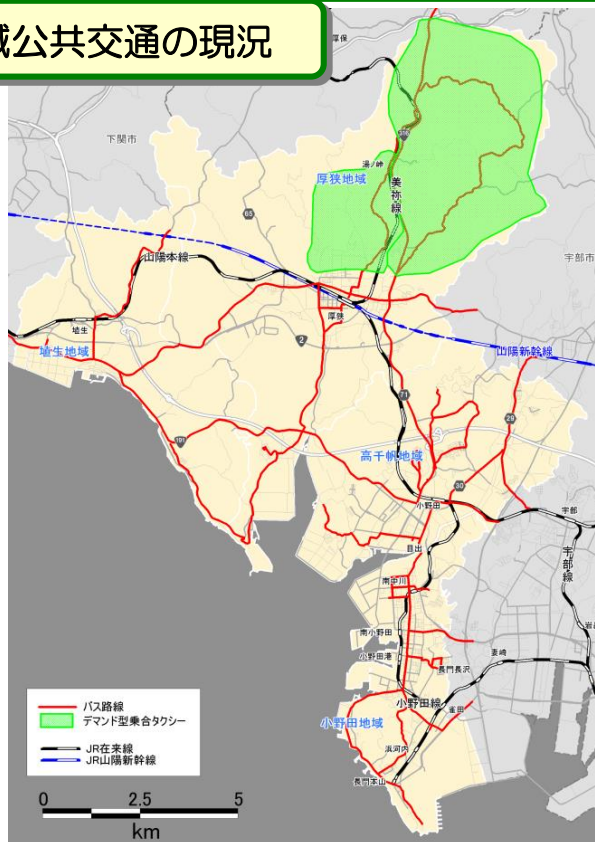
## 山陽小野田市地域公共交通会議の構成員

船木鉄道(株) サンデン交通(株) 宇部市交通局 西日本旅客鉄道(株) 学識経験者  
山陽小野田タクシー協会 中国運輸局 中国地方整備局 船木鉄道労働組合  
山口県宇部土木建築事務所 山陽小野田警察署 公募市民 山陽小野田市

## 地域公共交通の現状

- ・鉄道：JR山陽新幹線 JR山陽本線 JR小野田線 JR美祢線
- ・4条バス路線：船木鉄道(株) 40系統 サンデン交通(株) 5系統  
宇部市交通局 4系統
- ・デマンド型乗合タクシー：山陽小野田市が新興タクシー(株)へ業務委託
- ・タクシー：小野田第一交通(株) (有)神和第一交通 (有)小野田中央交通  
(有)観光タクシー 新興タクシー(株) ブルータクシー(株)
- ・高齢化率 31.3%

## 地域公共交通の現況



## 具体的な課題・問題点

- ・幹線と支線の明確化とそれぞれにあったサービスへの見直し
- ・交通結節点・乗継拠点の整備、運行情報のわかりにくさの改善
- ・人口減少・高齢化の対応、残された公共交通不便地区への対応
- ・市民の「公共交通を守る意識」の醸成
- ・まちづくりに関する周辺施策との連携強化
- ・公共交通に関する取組への市民参画の推進
- ・持続可能な財政支援のあり方の検討

## 調査事業の実施

## 調査事業の概要

- ・現況調査(人口分布、高齢化の状況、施設立地状況など)
- ・市民アンケート
- ・乗降調査
- ・ヒアリング調査(交通事業者、商業施設)
- ・地域公共交通網形成計画の作成

# 平成27年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 (地域公共交通調査等事業) 山陽小野田市地域公共交通会議

## 協議会における検討

- 協議会の開催状況 5回開催
- ・第1回(7月30日)  
地域公共交通策定の取組について
  - ・第2回(1月12日)  
地域公共交通の現状・課題について
  - ・第3回(2月5日)  
網形成計画骨子案について
  - ・第4回(2月12日)  
網形成計画骨子案について
  - ・第5回(3月29日)  
網形成計画の策定について

## 地域住民の意見の反映

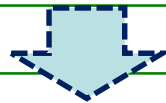
- ・10月に厚狭地域を運行するデマンド型交通の運行について、運行地域住民497人、利用者38人にアンケート調査を実施し、421人の回答を集計(回収率は78.6%)
- ・12月に市内2,000世帯(1世帯に調査票を2つ配布)を対象にアンケート調査を実施し、1,013人の回答を集計(回収率は25.3%)
- ・3月にパブリックコメントを実施(意見の件数 0件)

## 事業実施の適切性

- 事業が計画どおり適切に実施された。
- 地域公共交通網形成計画策定に必要な調査が実施できた。

## 調査事業の結果の概要

- ・乗降調査や住民アンケートを実施し、移動実態やニーズに合った路線再編の方向性を検討した。
- ・地域の現況や課題を整理し、私立大学の市立大学化を踏まえた利用促進のあり方など、本市が目指す公共交通の役割や交通ネットワークの将来像・方向性について検討した。
- ・都市計画分野や観光分野の方針を踏まえ、計画に位置づける事業を検討した。



## 生活交通確保維持改善計画の計画策定に向けた方針等

- 1 効果的・効率的な公共交通網  
地域資源を活かし、幹線・支線それぞれが地域の移動ニーズに合った、持続可能な公共交通網を整備します。
- 2 わかりやすく利用しやすい公共交通  
既存の利用者をつなぎとめるとともに、新たな利用者を開拓するため、わかりやすく利用しやすい公共交通の環境を整備します。
- 3 みんなで支える公共交通  
市民、企業、沿線施設、交通事業者、行政等、公共交通により利便を受ける全ての主体が協働・連携し、みんなの力で公共交通を支えます。

